

えほん



# でこぼこ 凸凹工房のおはなし組木は...

にんぎょうげき



子どもたちの大好きな絵本や童話、  
昔話の主人公や動物を組木にしました。

パズルやつみきとしても遊べるし、  
人形げきとして演じたり、みたりすることもできます。

木のわくもいろいろに使えます。  
他にどんな遊び方ができるかな？

## おはなし組木のポイント

ぞうくんのさんぼ	積んでいく緊張感とたおす開放感	残った枠は池になるよ。
三びきのこぶた	ひっくり返すとお鍋になるわらの家・ロフトのついた木の家・煙突付きのレンガの家。	
ももたろう	船に乗って鬼退治	残ったところは鬼の顔。
てぶくろ	「誰だ？てぶくろに住んでいるのは？」	「いや、どうしても入ってみせる」
三びきのやぎのがらがらどん	木の橋を渡る♪音がなかなかいいよ。	
おおきなかぶ	ネズミを乗せるとシーソーが...	残ったところは滑り台。
ブレーメンのおんがくたい	枠で泥棒の家と森の木ができるよ。	お話の続き作りで遊べるよ。
おおかみと七ひきのこやぎ	おおかみのおなかに6匹のこやぎが入って膨らんでしまうよ。	



パズル



つみき

でこぼこ工房は、浜松にある小さな家内制手工業の木工のおもちゃ工房です。

僕は、工房をはじめる前は保育士として子どもと関わっていました。

浜松はピアノをはじめとする楽器の街で、僕はその楽器の端材を利用して、子どもたちの大好きな絵本の主人公を組木で作ったのが始まりです。

おはなし組木は、保育園の子どもたちとはパズルだけでなく、人形劇としても遊んだり、お話作り・劇遊びへと発展させることもありました。

そして、1985年から『でこぼこ工房』としておもちゃを作り始め、ご注文を下されたお客様に直接お届けして、遊び方や思いを伝えてきました。その後、お客様の口コミで広がり今に至っています。

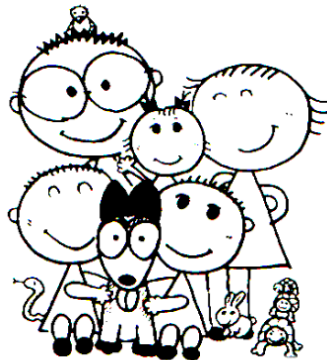
その間には、掛川に、『まちかどしばいごやふうおもしろぎゃらり-しょっぷ!? こちょこちょの木』をオープンしましたが、夫婦で眼を患い2004年に閉店しました。閉店と同時におもちゃの製作を、ベトナムで生産委託するようになりました。

しかし、現在は症状が落ち着いたこともあり、自宅の工房で二ホンイシガメの世話をしながらポチポチと作っています。

最初の頃のように、お客様にお届けしながら、遊び方や使い方などを直接お伝えできればと思っていますが、ピンクのパンフレットを参考に、お客様の発想で自由に遊んでいただけたらと思います。

また、ホームページやブログも参考にご利用いただければ幸いです。分からないことや困ったことがあったらお電話やメールをください。

木は、人間と同じくひとつひとつ顔や形や色が違います。また、製材の方法により節や木目の出方に違いがあります。堅さもいろいろでひとつひとつついでいねいに切っていくと、堅さによって多少の傷が残ることもあります。けれど、それも木の特徴であり、おもちゃとして遊んでいただけるのに支障はないと思っています。



でこぼこ工房のおもちゃで遊んでいただけたお客様には、ぜひ木の特徴をご理解いただき、おおらかに、楽しく、ゆかいに使っていただければと思います。

また、最近は藤田浩子さんとコラボで「自己紹介ばたばた」を古紙を利用して作ったり、檜の間伐材や端材でお風呂用のおもちゃも作り始めました。

問い合わせ 連絡先

でこぼこ工房 検索

〒432-8007

浜松市西区神原町25-2

でこぼこ工房 森島孝

Tel・Fax 053-485-2439

dekoboko-t@tokai.or.jp(メール)

http://www3.tokai.or.jp/cocycococyonoki/(HP)

http://dekoboko.dti.blog.cnm/(ブログ)